

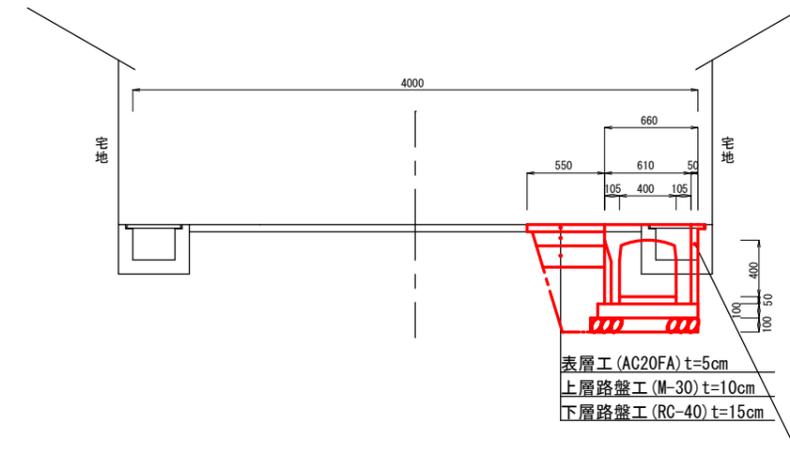
平面図

S=1/500



断面図

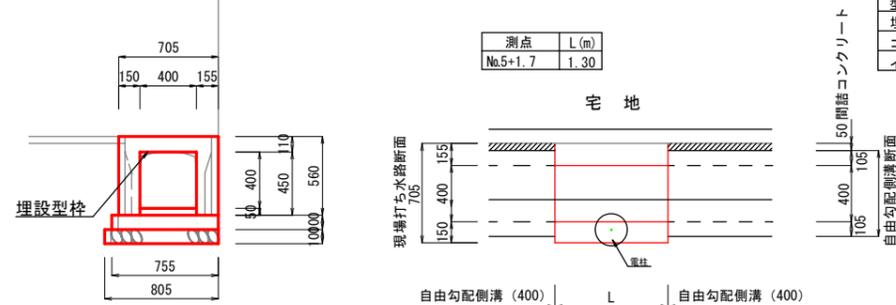
S=1/25



床掘	0.64
埋戻し	0.16
CO取壊し	0.06
舗装版破砕	0.81
基礎砕石	0.76
基礎コンクリート	0.71
基礎型枠	0.10
間詰コンクリート	0.03
表層工	0.55
上層路盤工	0.51
下層路盤工	0.48
不陸整正	0.79
表層工	0.79

現場打ち可変側溝 (縦断用)

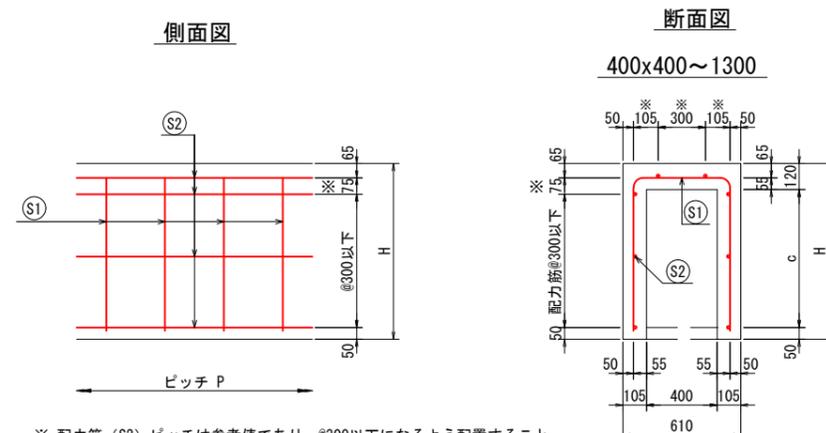
S=1/25



基礎砕石	A=0.81*1.0=0.81㎡
基礎型枠	A=0.10*1.0=0.10㎡
基礎CON	V=0.76*1.0=0.76㎡
型枠	A=(0.560+0.450+0.450)*1.0=1.46㎡
埋設型枠	A=0.400*1.0=0.4㎡
コンクリート	V=(0.560*0.705)-(0.40*0.45)*1.0=0.21m³
インバートCON	V=0.40*0.05*1.0=0.02m³

現場打ち可変側溝 (縦断用) 配筋図

縮尺なし



※ 配力筋 (S2) ピッチは参考値であり、@300以下になるよう配置すること。
 ※ 使用する鉄筋は全てSD345以上とする。

設計条件表

設計荷重	T-25 (50kN)
コンクリート設計基準強度	24 N/mm ²
鉄筋かぶり	35 mm以上
最大水セメント比	50 %

鉄筋曲げ加工表

径	R (mm)	a (mm)
D13	42	66
D16	48	75
D19	60	94

令和3年度

工事名	市道並木町1号線外側溝修繕工事
施工位置	魚津市 並木町 外 地内
図種	平面図・縦断面図・標準断面図 現場打ち可変側溝構造図・配筋図
図番	全 3 葉中 1 号 縮尺 図示
魚津市産業建設部建設課	

計	水路勾配										
計	水路底高	10.85	10.92	11.06	11.21	11.25	11.32	11.38			
画	盛土										
画	切土										
画	水路天端高 (右側路肩高)	11.36	11.44	11.58	11.72	11.77	11.82	11.89			
現	路肩高	11.36	11.41	11.58	11.75	11.78	11.80	11.89			
況	水路底高	10.85	10.92	11.06	11.21	11.25	11.32	11.38			
追	追加距離	0.00	20.00	28.40	40.00	60.00	80.00	113.70			
単	距離	0.00	20.00	8.40	11.60	20.00	13.70	20.00			
測	測点	NO.0	NO.1	+8.4	NO.2	NO.3	NO.4	+6.3	+9.5	NO.5	E.P. (NO.5+13.7)

呼び名	各部の寸法		鉄筋				1m当り数量		
			S1		S2		コンクリート体積 (m ³)	型枠面積 (m ²)	鉄筋質量 (kg)
			径	ピッチP (mm)	径	本数			
400 x 400	390	560	D13	250	D13	8	0.1656	2.4000	13.508

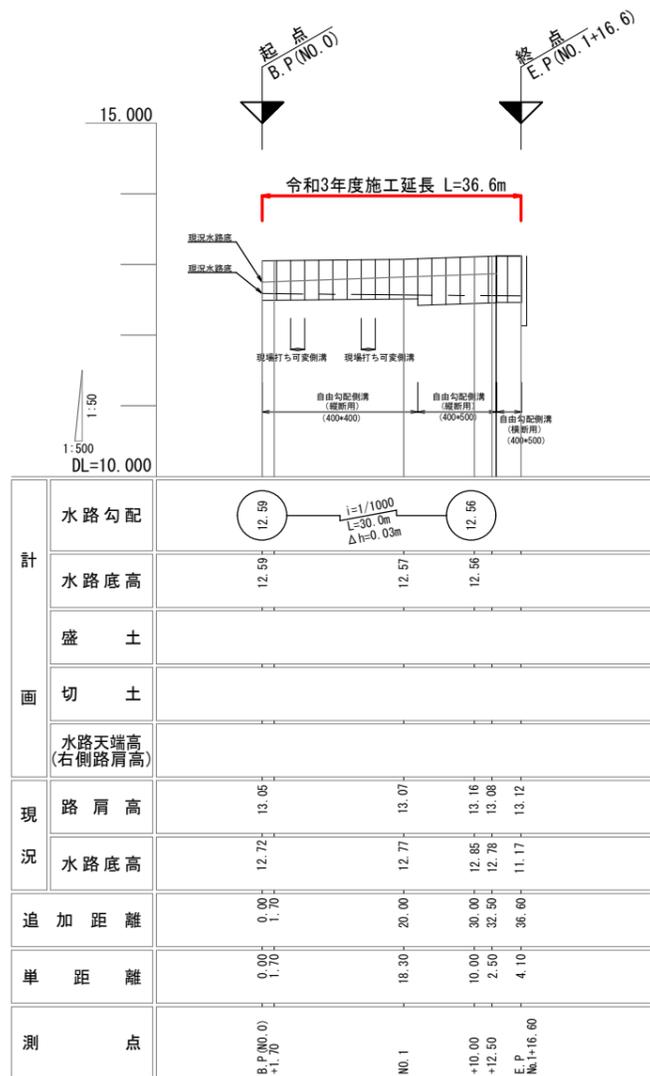
平面図

S=1/500



縦断面図

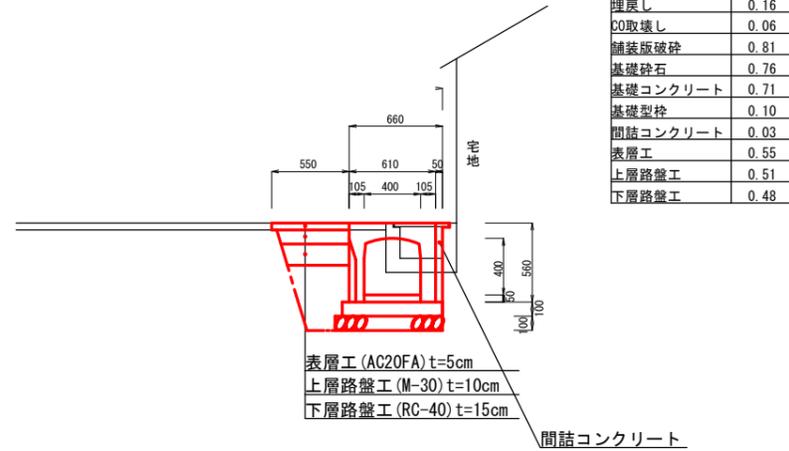
H=1/500, V=1/50



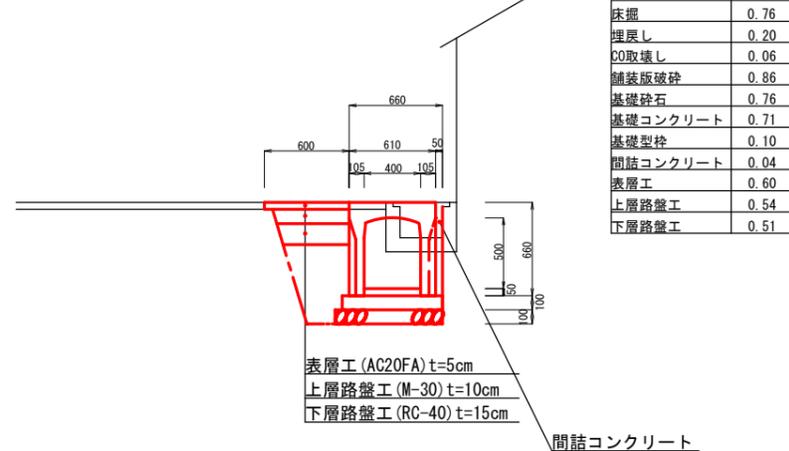
標準断面図

S=1/25

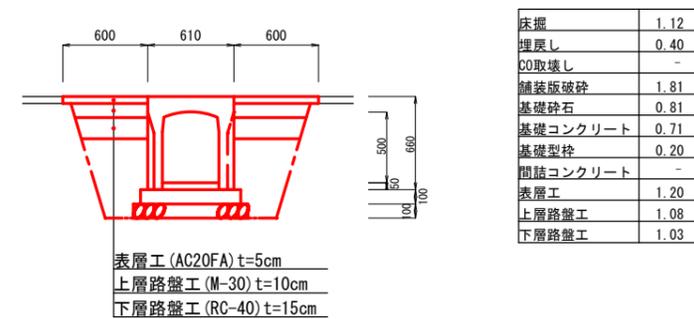
自由勾配側溝 (400*400) 縦断用



自由勾配側溝 (400*500) 縦断用



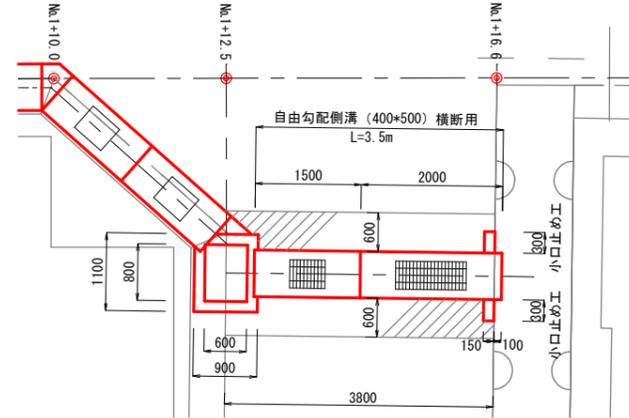
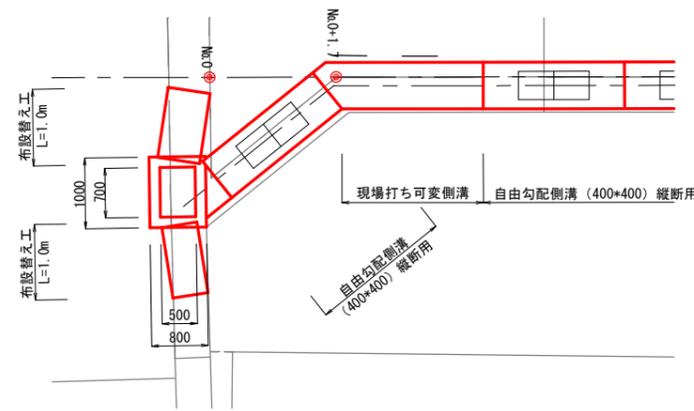
自由勾配側溝 (400*500) 横断用



令和3年度	
工事名	市道並木町1号線外側溝修繕工事
施工位置	魚津市 並木町 外地内
図種	平面図・縦断面図・標準断面図
図番	全 3 葉中 2 号 縮尺 図示
魚津市産業建設部建設課	

構造図

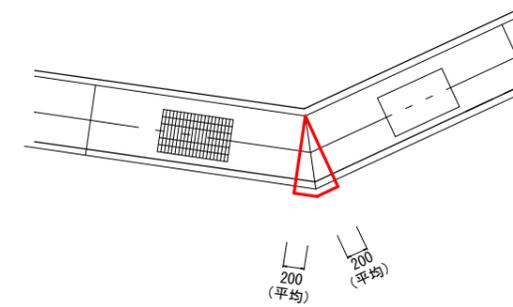
S=1/50



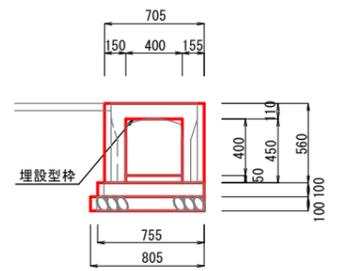
曲がり部現場打ち側溝

縮尺なし

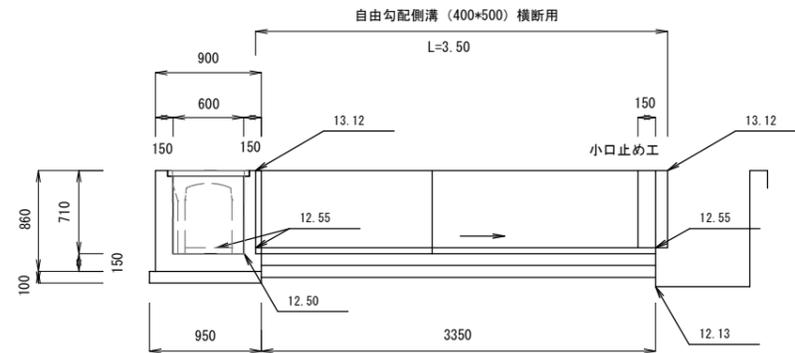
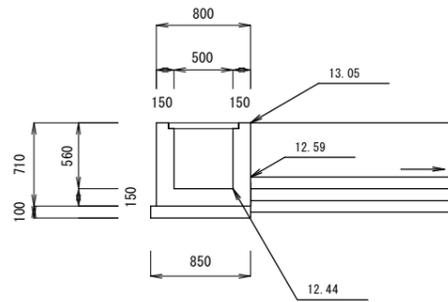
平面図



断面図



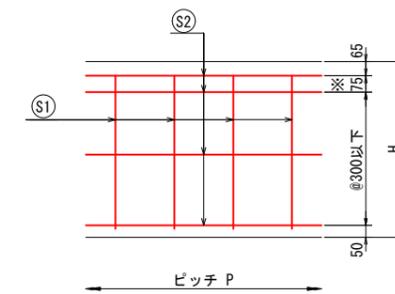
型枠 (平均)	$A1 = 0.560 \times 0.20 \times 2 + 0.40 \times 0.20 \times 4 = 0.54 \text{ m}^2$ (壁面) $A2 = 1/2 (0.20 \times 0.40) \times 2 = 0.08 \text{ m}^2$ (天端) A (型枠 1 箇所あたり) = $A1 + A2 = 0.54 + 0.06 = 0.62 \text{ m}^2$
コンクリート (平均)	$V1 = 0.705 \times 0.560 - 0.40 \times 0.40 = 0.23 \text{ m}^3$ V (コンクリート 1 箇所あたり) = $V1 \times 0.4 = 0.09 \text{ m}^3$



現場打ち可変側溝 (縦断用) 配筋図

縮尺なし

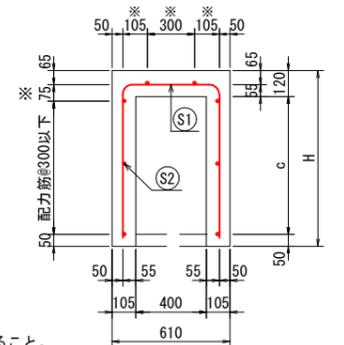
側面図



※ 配力筋 (S2) ピッチは参考値であり、@300以下になるよう配置すること。
 ※ 使用する鉄筋は全てSD345以上とする。

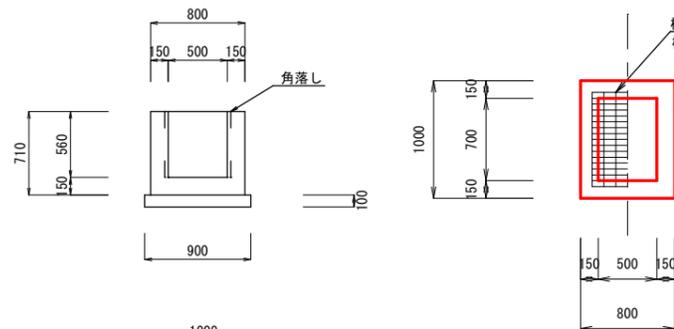
断面図

400x400~1300



樹工 ①

S=1/30

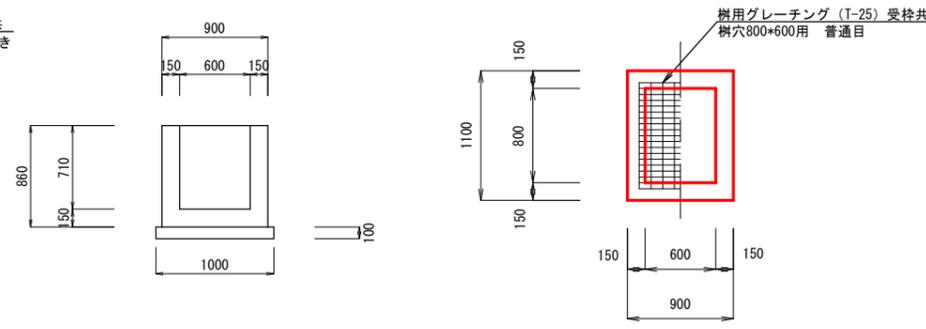


床掘	1.33
埋戻し	0.38
舗装版破砕	1.89
基礎砕石	1.10
型枠	4.11
コンクリート	0.37
表層工	1.20
上層路盤工	1.08
下層路盤工	1.03

型枠 $A1 = (0.71 \times 1.00 + 0.71 \times 0.70) \times 2 = 2.41$
 $A2 = (0.71 \times 0.70 + 0.71 \times 0.50) \times 2 = 1.70$
 $A = A1 + A2 = 4.11$
 コンクリート $V = 0.71 \times 1.00 \times 0.80 - 0.56 \times 0.70 \times 0.50 = 0.37$

樹工 ②

S=1/30



床掘	-	(横断溝で計上)
埋戻し	-	(横断溝で計上)
舗装版破砕	-	(横断溝で計上)
基礎砕石	1.20	
型枠	4.26	
コンクリート	0.59	
表層工	-	(横断溝で計上)
上層路盤工	-	(横断溝で計上)
下層路盤工	-	(横断溝で計上)

型枠 $A1 = (0.86 \times 1.10 + 0.71 \times 0.80) \times 2 = 3.02$
 $A2 = (0.71 \times 0.80 + 0.71 \times 0.60) \times 2 = 1.99$
 $A = A1 + A2 = 5.01$
 コンクリート $V = 0.86 \times 1.10 \times 1.10 - 0.71 \times 0.80 \times 0.80 = 0.59$

設計条件表

設計荷重	T-25 (50kN)
コンクリート設計基準強度	24 N/mm ²
鉄筋かぶり	35 mm以上
最大水セメント比	50 %

鉄筋曲げ加工表

径 (mm)	R (mm)	a (mm)
D13	42	66
D16	48	75
D19	60	94

令和 3 年度

工事名 市道並木町 1号線外 側溝修繕工事
 施工位置 魚津市 並木町 外 地内

図種 構造図

図番 全 3 葉中 3 号 縮尺 図示

魚津市産業建設部建設課